



川上教育長

教育 行政方針

統と文化を大切にし故郷を愛する子どももの育成」を教育目標とする。

28年度の新たな取り組み

○学習支援員を2名増員。各小中学校に配置

○文部科学省のコミュニケーション事業のモデル指定校の取り組み（葉山小学校）

○平成31年からの道徳の教科化に対応するための研究を行う県モデル指定校としての取り組み（葉山小学校）

○放課後教室における加力補習
○春・夏休みの加力補習のためのスクールの開校

○3小学校合同の3泊4日の宿泊研修

○葉山小学校1階トイレの洋式化

○3小学校の音楽室へのエアコンの整備

○2中学校の教育用パソコン関連設備の一新

生涯教育

「活力に満ちた豊かな生活を送ることができるよう学習や芸術などの文化活動、スポーツ活動が行える環境づくり」「先人が育んだ伝統文化や芸能を健全に保全すると共に、遺産を活かしたまちづくり」を基本指針とする。

28年度の新たな取り組み

○高知大学と連携した生涯学習講座の開催

○東区郷土資料館の休日開催（片岡別荘内にも資料等の展示予定）

○津野氏に関わる歴史展（酒蔵ホール）

○平成29・30年の歴史博覧会に向けた専門アドバイザーの配置

○葉山総合運動公園落成औプン（元オリンピック）選手招聘や子どもを対象とした落成イベントの開催

津野町議会3月定例会の開会日を傍聴して

県議会をケーブルテレビで見たいことは何度かありますが、他市町村の議会に出向き傍聴したのは今回の津野町が初めてでした。さまざまな違いに驚き、同時に大変参考になりました。まず、固定概念というものが失敗につながることを再認識しました。津野町役場に到着し、傍聴のため午前10時前に3階の議場へ入るともう開会して町長の施政方針が述べられていました。

針が述べられており、現状と課題を説明し、28年度の具体的な計画や方針が熱心に語られました。須崎市では、教育長が教育行政方針を述べることはなく、資料が配布され、各議員の一般質問に答弁するだけです。また、条例改正議案には、新旧対照表が参考資料としてあるのもわかりやすく思いました。

須崎市は、定例会の開会は午前10時と決まっていますので、当然津野町も10時開会と思いましたが、9時30分開会でした。また、同様に須崎市は傍聴者のために議案資料を議場入り口に置いてあるのが当然あるものと探しましたがどこにもありませんでした。議案資料は休憩に入った時に議会事務局にもらうことが出来ました。

4月10日から津野町を含む高幡広域1市4町で奥四万十博が開催されています。連携をとって大いに盛り上げて成功に導き、おもてなしの心を添えて観光振興につなげていきましょう。

休憩後、年度当初ということで町長の施政方針・行政報告後、教育長から教育行政方針が述べられており、現状と課題を説明し、28年度の具体的な計画や方針が熱心に語られました。須崎市では、教育長が教育行政方針を述べることはなく、資料が配布され、各議員の一般質問に答弁するだけです。また、条例改正議案には、新旧対照表が参考資料としてあるのもわかりやすく思いました。

須崎市議会議員 竹下雅典

幼児教育
（認定子ども園の教育方針）
「豊かな心とやる気を持ち、逞しく生きる津野っこの育成」とし「基本的な生活リズムや挨拶」「豊かな心の育成」等の道徳教育と、友達との遊びから発見・考え・伝える問題解決型の学習を重点目標とする。

28年度の新たな取り組み
○高岡ブロック研修会の会場園とし毎月園内研修を開催

学校教育
（教育方針）
「夢や希望を持ち、心豊かで逞しい子どももの育成」「自ら学び・考え・行動できる子どももの育成」「伝